

『《系統看護学講座 専門分野》基礎看護学[1] 看護学概論 第17版』

正誤表

このたびは『《系統看護学講座 専門分野》基礎看護学[1] 看護学概論 第17版』をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

第1刷（2020年1月6日発行）～第5刷（2024年2月1日発行）におきまして、以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

2024年5月15日作成

刷数	訂正箇所	誤	正	掲載
1～3	p.117 15～16行目	入院患者を傷病分類別にみると、多い順に「精神及び行動の障害」が252万人、「循環器系の疾患」が228万6千人、「新生物〈腫瘍〉」が142万2千人	入院患者を傷病分類別にみると、多い順に「精神及び行動の障害」が25万2千人、「循環器系の疾患」が22万8千人、「新生物〈腫瘍〉」が14万2千人	2024/5/15
1～3	p.117 19～20行目	外来患者は、多い順に「消化器系の疾患」が1293万2千人、「循環器系の疾患」が888万9千人、「筋骨格系及び結合組織の疾患」が877万2千人	外来患者は、多い順に「消化器系の疾患」が129万3千人、「循環器系の疾患」が88万8千人、「筋骨格系及び結合組織の疾患」が87万7千人	2024/5/15
4, 5	p.117 15～16行目	入院患者を傷病分類別にみると、多い順に「精神及び行動の障害」が236万6千人、「循環器系の疾患」が198万2千人、「新生物〈腫瘍〉」が126万7千人	入院患者を傷病分類別にみると、多い順に「精神及び行動の障害」が23万6千人、「循環器系の疾患」が19万8千人、「新生物〈腫瘍〉」が12万6千人	2024/5/15
4, 5	p.117 19～20行目	外来患者は、多い順に「消化器系の疾患」が1270万8千人、「循環器系の疾患」が822万8千人、「筋骨格系及び結合組織の疾患」が906万人	外来患者は、多い順に「消化器系の疾患」が127万人、「循環器系の疾患」が82万2千人、「筋骨格系及び結合組織の疾患」が90万6千人	2024/5/15



医学書院